

第5回 ネパール野球交流活動 活動報告書

2001年8月29日～9月19日

プール学院大学 異文化間協働センター

ネパール野球交流活動グループ

皆様から温かいご協力を頂きまして誠にありがとうございます。

お陰さまで、2001年8月29日～2001年9月19日の期間、ネパール・ポカラ市にあるアマ・シンセカンダリースクールにて第5回ネパール野球交流活動が無事終了してまいりました。その時の活動報告をさせていただきます。

期間 : 2001年8月29日～2001年9月19日
場所 : ネパール、ポカラ市、アマ・シンセカンダリースクール
参加者 : プール学院大学 学部生(男性) 5名 (女性) 11名
 プール学院大学 卒業生(男性) 1名 (女性) 1名
 関西大学 学部生(男性) 4名 (女性) 2名
 大阪学院大学 学部生(男性) 1名
 龍谷大学 学部生(男性) 1名 計26名

全体の報告、感想

今回の活動は今まで一校であったアマ・シンセカンダリースクールに加え、カリカセカンダリースクール、シリ・シッダセカンダリースクールの計3校、49人と野球交流活動を行いました。3校それぞれには実力差があり、アマ・シンセカンダリースクールの生徒には今までよりも高い技術の野球指導、そしてより野球を楽しんでくれるにはどうすれば良いかを考えて活動を行いました。カリカセカンダリースクールの生徒はルールを理解してもらうのと同時にバッティング、走塁、守備などを教えました。シリ・シッダセカンダリースクールの生徒はまだ野球を始めたばかりだったので、ルール理解と送球、走塁、スイングの基礎を重点的に教えました。

今回は今までの状況とは大きく変わり、それぞれ1校に1チーム日本人メンバーがつき活動を行う予定でした。しかし、そうして3校3チームに別れて野球交流を行うよりも、日本人メンバー全員が生徒全員とふれあえるように野球を楽しんだ方が良いのではないかとそれが本当の野球交流ではないかと話し合い、私達は全員で野球することを選びました。学校により教えたことは別々で上に書いた通りですが、ランニング、準備体操、練習後の生徒とのミーティング、ランニングゲームなど全員で出来ることは全員で行いました。又、バッティング、守備、走塁練習もアマ・シンとカリカの合同練習、カリカとシリ・シッダの合同練習などを行いました。その時、残りの1校はそれぞれのレベルに合わせた練習、又は、足りない部分の練習を行いました。雨の日は教室でルール勉強、日本の高校野球のビデオ紹介、グローブ、バットの修理の仕方を教えながら生徒と話をし触れ合いました。

その結果日本人メンバーも生徒達もお互いたくさん触れ合い、話し合い、楽しみながら

ロープ、バット、ボールなどボロボロになりながらも今でも大切に使っているのが良くわかり、嬉しいことでした。練習後ボールの数が足らなかった時があり生徒達自らボールを探していました。

アマ・シンの状況は変わったものの、野球に対する情熱は全く変わっていませんでした。それがあるからこそ、野球交流を続けていきたいと改めて思いました。 (園田健弥)

カリカの報告、感想

カリカセカンダリースクールの生徒は19人で、野球を始めてから5ヶ月の生徒、その中でもルールを理解している生徒は2、3人でした。そして、今回の交流活動から初めて野球を始める生徒もいて、ルールの理解度や技術の差が大きいチームでした。この差を埋めながら双方を飽きさせずに、より興味を持たし、そしてなによりも、野球の楽しさを知ってもらうのが大きな課題でした。

まず、一番にしなければならないことは、名前を覚えあうことであり、名前を呼び合うことでコミュニケーションをとり、日本人とネパール人ではなく、野球と一緒に楽しむ仲間になれるだけ早くなることが重要だと思いました。

スポーツは基本が1番大事です。基本が出来ていないと楽しいことも、楽しめません。キャッチボール、守備練習、バッティング練習の最中には、ボールの取り方や投げ方、バットの振り方など、基本的なフォームを体で覚えるために良いところは誉め、悪いところは注意する事を何度も繰り返し行いました。練習中は掛け声を出すようにし、良いプレイをする生徒には、大きな声を出して全員で誉めるようにしました。野球は団体スポーツなので、お互いに声を掛け合うということは、相手のプレイを見ていなければできないことで、相手のプレイを見ることによって、どれが良いプレイ、悪いプレイの区別もつき、チームワークの向上にも繋がると考えたからです(もちろん日本人も含めて)。

カリカが特に気をつけていたのが、練習中のけが、練習後の身体のケアと、道具の大切さを解ってもらうことでした。生徒達から「肩や肘が痛いけどどうしたらいい。」と質問され、今後、野球をより長く続けていくためにも、練習後に軽く柔軟体操をするように勧めました。そして、道具の大切さを知ってもらうために、バットで遊んだり、ボールを取りに行かなかったり、道具を雑に扱う生徒には厳しく叱りました。

カリカの生徒に初めて会い、花倉さんに紹介された時は、「カリカはやんちゃやぞ。」と聞いていて、確かに、生徒達の顔を見回してもやんちゃそうで少し身構えましたが、そのうちにカリカのチームリーダーを紹介されました。丁寧に挨拶をしてくれましたが、初めは、彼が一番やんちゃそうだという印象を受けました。しかし、交流を深める度に、彼のリーダーシップは随所で発揮されました。

カリカはアマ・シンの様に英語が話せないなので、通訳がいなときは、気持ちを伝えるにはジェスチャーしかありませんでした。しかし、彼はこちらの言いたいことを悟って伝えてくれるし、やんちゃ盛りのメンバーは彼のいうことを素直に聞いていました。彼がい

なかったら、このチームはうまくいかなかったと思いました。カリカは始めに言われた通りやんちゃでしたが、そういう子の方が可愛かったし、リーダーを中心に、個性あふれるメンバーがうまくまとまっていて、アマ・シンとは違う魅力を持った良いチームでした。

私が一番心に残っているシーンがあります。カリカ対アマ・シンの試合中のことでした。試合の中盤に、点差が十数点とひらいて負けていました。カリカが守備の時に、その回も連打をあげ、メンバーは戦意喪失していました。それを見かねたキャッチャーの生徒が、全員に喝をとばし、今までにはなかった光景を見ました。これを見たときに、今回の活動は成功したと感じました。結果的に、試合には負けましたが『アマシンに勝つ』という目標が出来て、良かったと思います。また、今回の活動で、生徒達に何らかの形でプラスになってくれればと思います。(佐原啓太)

シリシダの報告、感想

今回から新しく参加したシリシダセカンダリースクールの生徒14人は野球を始めて一週間のチームでした。初めて生徒達を見た時の印象は、みんな同じような顔つきで個性がなく楽しく野球ができるのか不安でした。

まず、シリシダは野球の技術より、野球の楽しさを解ってもらうように練習しました。ノックを打つ時も技術にこだわらず、とにかく元気よく声を出すことを心がけました。又、生徒の名前を早く覚え、より仲良くなるため、ノックを打つ時は一人一人名前を呼んで打ちました。生徒達は「OK!」と大きな声で返事をして、良いプレーをした時は「ラムロ(ナイス)」と誉めると嬉しそうに笑ってくれました。練習やそれ以外でもとにかく生徒は元気で始めの印象とは全く逆で野球を楽しんでいました。

生徒には野球の基本(走塁、スイング、キャッチボール、送球、捕球、野球のルール)を中心に教えました。走塁ではダイヤモンドの回り方や、一塁駆け抜けを教えました。みんな驚くほど走る事が好きでした。スイングでは、とりあえずボールをよく見て思いきり振ることを中心に教え、軽くボールを投げバッティングを行ないました。キャッチボールでは両手で捕り、しっかりと相手の胸へ返すことを教えました。みんな両手で捕ることを忘れがちで「ダブルハンド」と注意すると照れながら素直に聞いてくれました。していない子がいると生徒同士で「ダブルハンド」と言い合っているのが嬉しかったです。雨の日は、ルール(ストライクゾーン、アウトカウント、フォースアウト等)について勉強しました。生徒たちはそのすべてを本当に楽しんでやっていました。

そして、シリシダはカリカと初めての試合をしました。結果は惨敗でしたが、一生懸命に野球をしているのが伝わりました。試合時間が短かったので全員がでられるように選手交代をするタイミングが一番難しかったです。中には活躍できずに泣いている生徒もいました。その姿を見るのはつらかったですが、活躍できなかった悔しさがあれば野球を続け、そしてより野球の楽しさを解ってくれると確信しました。

次に交流するとき、子供達がどれだけうまくなっているか大変楽しみです。(藤岡恭兵)

子どものインタビュー

交流活動を行った生徒達に野球に関するインタビューを行いました。

質問内容は以下の通りです。

① 名前 (年齢) ポジション ② ~~どれくらい~~ 野球を続けていますか? ③ なぜ野球を始めようと思ったのですか? ④ 野球のどんなところが楽しいですか? ⑤ 練習で何が一番楽しいですか? ⑥ 将来どんな選手になりたいですか? ⑦ 野球のルールの中で何が難しいですか? ⑧ やめたいと思ったことはありますか? なぜですか? ⑨ 練習と試合のどちらが好きですか? なぜですか? ⑩ 野球以外のスポーツで好きなものは何ですか? ⑪ ネパールに野球を広めたいですか? ⑫ 日本の協力者に一言

アマ・シン セカンダリースクール



①サンジャイ (15 歳) サード ②3 年 ③新しいスポーツなのでルールを知りたかったから ④試合で勝つこと ⑤バッティング、ピッチング ⑥ネパールで野球を発展させるため指導したい ⑦なし ⑧なし ⑨練習、どうすれば上手くなるかわかるから ⑩サッカー ⑪はい ⑫今ネパールには道具がないので寄付してくれて心から感謝します、死ぬまで忘れません



①ジーバン (17 歳) ファースト、控えピッチャー ②2 年 ③試合がとても面白そうだったから ④試合 ⑤バッティング、ランニング ⑥ネパールで有名な選手 ⑦なし ⑧なし ⑨練習、パーフェクトになれるから ⑩サッカー ⑪はい ⑫ありがとう



①ニーラン (16 歳) セカンド ②3 年 ③初めてのスポーツだったから、試合が面白そうだったから ④バッティング、キャッチング、ホームラン、ライナーを取った時 ⑤バッティング、ホームランを打つ機会があるから ⑥国際選手 ⑦ランナーがはさまれた時 ⑧なし ⑨練習、強くなれるから ⑩サッカー ⑪はい ⑫ありがとう、道具をもらった時のことを覚えています。協力者の方々に会いたい



①ロクマン (16 歳) レフト ②1 年 ③健康のため ④バッティング ⑤バッティング ⑥高いボールをキャッチしたい ⑦ ⑧ある、体が痛いから ⑨練習、もっと練習してから試合したい ⑩サッカー ⑪はい ⑫ありがとう



①シャム (17 歳) ショート
②2 年 ③前から野球を知っ
ていて好きだったから ④
思い出 ⑤キャッチング ⑥
プロ選手 ⑦なし ⑧なし ⑨練習、練習す
るとパーフェクトになれるから ⑩サッカ
ー、テニス、卓球、バドミントン等 ⑪はい
⑫ありがとう、僕達はネパールに野球
を広めます



①ビシャル (16 歳) キャッ
チャー ②2 年 ③お兄ちゃん
もしていたから好きになり、
自分がいい選手になりたか
ったから ④試合 ⑤バッティング ⑥いつ
もプレイしていたい ⑦なし ⑧なし ⑨試
合 ⑩サッカー ⑪はい ⑫ネパールで野球
は有名じゃないから道具が必要です、あり
がとう

カリカ セカンダリースクール



①キラン (16 歳) センター ②
1 ヶ月 ③面白いスポーツだ
から ④バッティング、キャッ
チング ⑤ランニング ⑥セン
ター ⑦ストライクとボールの違い ⑧なし
⑨試合 ⑩サッカー ⑪はい ⑫ありがとう



①モノス (17 歳) ライト ②3
週間 ③好きだから ④バッテ
ィング ⑤バッティング ⑥ラ
イト ⑦ランニング ⑧なし
⑨練習、いい選手になれるから ⑩サッカー
⑪はい ⑫協力して頂いてありがとう



①ガネシュ (15 歳) ライ
ト ②2 週間 ③楽しそうだ
ったから ④ストライクを
もらう時 ⑤ピッチング
⑥セカンド ⑦なし ⑧なし ⑨練習、まだ
習っているところなのでもっと練習しな
いといけないから ⑩サッカー ⑪はい
⑫特になし



①ターラ (17 歳) レフト ②6
ヶ月 ③新しいスポーツだか
ら ④バッティング、キャッ
チング ⑤ピッチング ⑥レ
フト ⑦バッティングの足のスタンス ⑧な
し ⑨両方、練習すれば上手くなるし、試合
は楽しいから ⑩サッカー ⑪はい ⑫道具
が足りないので送って欲しいです、ありが
とう



①ギム (16 歳) サード ②6
ヶ月 ③興味があったから
④ノック ⑤ランニングゲー
ム ⑥サード ⑦バッティン
グ、ストライクとボールの違い ⑧なし ⑨
練習、上手くなるから ⑩バレーボール、サ
ッカー ⑪はい ⑫足りない道具のご協力を
お願いします、ありがとう



①プスバ(14歳)センター ②2ヶ月 ③いいスポーツだと思ったから ④バッティング ⑤バッティング ⑥ファースト ⑦ストライク、ボール、ファールの違い ⑧なし ⑨練習、試合をするために大切だから ⑩サッカー ⑪はい ⑫ありがとう



①イブラチ(15歳)ピッチャー ②6ヶ月 ③野球を広めたいから ④バッティング ⑤バッティング ⑥ピッチャー ⑦ストライクとボールの違い ⑧なし ⑨試合、練習が楽しくなるから ⑩サッカー ⑪はい ⑫もっと協力して欲しい、ありがとう

シリ・シッダ セカンダリースクール



①リマール(13歳)セカンド ②2週間 ③ネパールで野球を教えるため ④バッティング ⑤ピッチング ⑥セカンド ⑦なし ⑧なし ⑨練習 ⑩バレーボール ⑪はい ⑫ありがとう



①ディボーク(15歳)ファースト ②2週間 ③いい選手になりたいから ④バッティング ⑤ピッチング ⑥ファースト ⑦走る時 ⑧なし ⑨試合 ⑩サッカー ⑪はい ⑫また来て欲しい



①ラジェス(14歳)ファースト ②2週間 ③いい選手になるため ④フライボールのキャッチング ⑤バッティング ⑥ファースト ⑦なし ⑧なし ⑨試合、フライボールが飛んでくるから ⑩サッカー ⑪はい ⑫ありがとう



①ラジュ(15歳)セカンド ②2週間 ③いい選手になりたいから ④フライボールをとる時 ⑤ランニング ⑥セカンド ⑦バッティング ⑧なし ⑨練習 ⑩サッカー ⑪はい ⑫ありがとう



①バルカス(15歳)セカンド ②2週間 ③先生になりたいから ④バッティング ⑤バッティング ⑥セカンド ⑦走る時 ⑧なし ⑨練習 ⑩サッカー ⑪はい ⑫協力を続けて欲しい

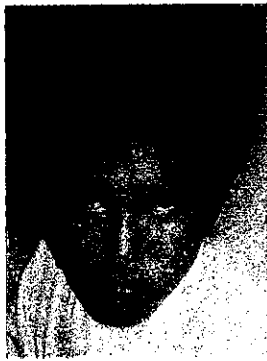


①ナラヤン(16歳)オールラウンド ②2週間 ③興味があったから ④守備は全部楽しい ⑤バッティング ⑥ファースト ⑦なし ⑧なし ⑨両方 ⑩バレーボール ⑪はい ⑫ありがとう

(報告者：三上真里奈)

花倉雄宇也の活動報告

今年の4月よりプール学院大学卒業生の花倉雄宇也が現地で一年間野球交流活動を行っています。この報告をさせていただきます。



現在までの活動

彼は、一年間ポカラに滞在する予定で今年4月に出発しました。私達が行くまでに3~4校の学校に新しく野球を紹介し、9月に学校間で対抗試合を行う、というのが始めの目標でした。まずアマ・シンを教えながら、アマ・シンの生徒といっしょにカリカセカンダリースクールの生徒に教えました。その次にシリ・シッダセカンダリースクールの生徒に教えました。

今後の活動予定

これから、朝はとても寒くなり野球ができる状態ではないということなので、朝は基本的に野球に取り組むための基礎体力作り、夕方は楽しい野球をすることを第一に考えて技術の向上、ルール理解を行っていくつもりです。当初の予定では一年間で6~8校まで広げるつもりでしたが、このまま3校で交流を行う予定です。理由はグラウンドがないことと、他の学校に教えるまでに、ある程度カリカ、シリシダの生徒に野球の楽しさを解ってもらいたいと考えているからです。

2月にまた日本から大人数(?)が来ると聞いているので、それに合わせて、カリカ、シッダの子供たちがその時にもっと野球を通じて交流してくれるように、みっちり野球をするつもりです。今の予定では週交代でカリカ、シッダとやっていくつもりです。アマシンは随時参加 OK という事にしています。一人で教えるのは大変なので、彼らにも手伝ってもらおうと考えています。それによって学校間の交流ができ、毎週土曜日は必ず試合をしよう、と生徒たちとも約束しました。2月に来られる人、生徒たちと一緒にバットとグローブを両手に構えて、待っています。

花倉雄宇也の感想

この半年間は、正直言って本当に複雑な半年でした。4月から始めた一人での現地活動でたくさんの方に応援されながら、頑張ってきたつもりでした。

しかし、実際は問題が多く大変でした。半年を振り返ってみても、「これがダメだった、あれがダメだった」と、マイナスなことばかり考えていました。

もちろん、楽しいこともありました。しかし、アマ・シン、カリカ、トップス、シリシダ、4つのチームと野球で「交流」することが第一と頭では解っていても、どうしても納得いくものが創れませんでした。9月のメンバーが来る時に、ある程度までは仕上げておかなければいけないと思い、自分の中に苛立ちが生まれ、それが生徒たちをも苦しめていたような気がします。

そういう中でさらに「雨季」に大変苦勞させられました。ずっと振り続く雨の中でどうしようもできませんでした。生徒たちは野球をやりたいがルール of 勉強は嫌がり、それを強制的にするのが難しかったです。生徒たちの気持ちを考えながら動かなければならず、進めていくたびに自分が消えていくような気持ちでした。

9月にメンバーが来たときは正直言って怖かったです。みんなが自分のやったことを認めてくれるだろうか？と、すごく不安でした。

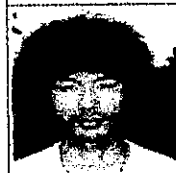
しかし彼らが生徒たちと野球を通して楽しんでいる姿を見て「ここで活動していてよかった」と思えました。

今は、すごく楽な気持ちです。これからの半年間は、あくまでも自分らしく、生徒たちとの時間を共有することを第一に考えています。やはりこう思えるのもこの半年間のおかげであって、次へのステップが踏めることに感謝しています。半年間を取り返したい、という気持ちもあります。だからといって、強気でガンガン行くぞ！という感覚ではなく、「楽しむ」ことが大事だと思っています。自分がこの活動を楽しむためには、まず自分が野球を楽しまないといけないということも理解できました。それが生徒たちにも伝わったらきっと前よりも何倍もこの活動の意味も面白さも大きくなると思います。

きっとこれからも様々な問題が起きて、楽しいことばかりじゃないと思いますが、そのときはみんなで解決していくことができるでしょう。

仲間は色々なところにいます。ポカラにもカトマンドゥにも、そして日本にも。これからも頑張ります。今度は2月だ！みんなも来いよ！

参加者インタビュー

	花倉雄字也 趣味：CD探し・トレッキング 今回のネパール野球は一言で言うと楽しかったです。そして、私はみんなと一緒に野球というものに取り組む姿はとても嬉しかったし、感動しました。私は今回の2週間でみんなから教えてもらったことがたくさんありました。それをこれからの半年間でやっていきたいと思います。
	園田健弥（3回目）プール学院大学 趣味：将棋 今回で3回目の参加ですが、今までと違うネパール野球が出来たと思います。しかし、共通しているのは子供たちが「野球がしたい、教えてほしい」と言っていることです。それが残る限り、ずっとこの活動を続けていきたいです。
	佐原啓太（2回目）プール学院大学 趣味：編み物 今回、アマシン1校だったのが、カリカ・シッダ3校に増え、うまくいけるか心配だったのですが、新しい2校の生徒にもアマシンと同じように、とてもキラキラした目と笑顔でいっぱい光景が目には焼きついています。いつまでもその光景が見られることを願っています。
	藤岡恭兵（2回目）プール学院大学 趣味：ハーモニカ 今回もまた子供たちに野球の楽しさを教えてもらったような気がします。子供たちに日本の甲子園のビデオを見せたときの一球一球に対する目の輝きが忘れられません。これからも全力でこの活動を進めていきたいと思っています。
	三上真里奈（2回目）プール学院大学 趣味：シャボン玉 今回は参加者が多く、話し合いで意見が食い違う場面も多くありました。しかし、最後にはメンバー全員が自ら楽しむことができるようにと努力している姿があり、とてもよかったと思います。何回行ってもその度問題は増えていくけど、これからもそれを克服しながら、続けていきたいです。
	巖一季（2回目）プール学院大学 趣味：韓国舞踊・お菓子作り 今回2回目の参加で、現地で教える学校や参加者が増えたことなど、前回に比べ大きく変化した環境の中で多くの葛藤がありました。しかし、そういった悩みを共有できる仲間、そして多くの出会いに恵まれ、とてもプラスになった研修となりました。次回も是非参加したいです。
	多田和弘（2回目）龍谷大学 趣味：映画鑑賞 今回2回目の参加でしたが、前回より参加校が2校増え、参加者が増えていたので非常に楽しかったです。これからもこの活動が広がっていくように、子供たちと一緒にがんばっていききたいと思っています。
	高井賢（初参加）関西大学 趣味：高校野球観戦 この活動に参加しなければ、わからなかったことや出会えなかった人達がたくさんいました。だからネパールでの3週間、みんなと過ごしたことは絶対に忘れられません。プール学院大学のみなさん、ありがとうございました。
	宮田春香（3回目）ネパールダンス勉強中 趣味：ネパールダンス 今回の研修はいろんなことを感じました。楽しいだけでなく、難しいこともありました。みんなが自分のできることを考え、真剣に取り組む姿がとても印象的でした。みんなといたときがこれからの私の支えです。私はここでがんばります。そして、ずっとこの活動を見ていきたいです。

	桂田薬名（3回目）関西大学 趣味：チョコレート 今回は人数が多いので、それぞれの意見などを全員が把握したりすることは出来なかったけれど、みんな一生懸命自分のやることを探し、がんばっていたように思います。また、この活動がよい方向に向かっていると感じました。そして、野球をする人が増えるのは本当に嬉しいと思いました。
	岡村諭（初参加）大阪学院大学 趣味：野球 私は今まで十数年間にわたって、野球に携わってきましたが、野球のないところでの活動ということでもかなり興味がありました。野球に触れる子供たちの顔などにわくわくさせられました。私自身もたくさん感じ考えるいい機会が多くありました。今回の活動に携わった全ての人に感謝します。
	李由紀（初参加）プール学院大学 趣味：韓国舞踊・旅行 ネパール研修に参加して、1番感じたことは子供たち・プレーヤー・マネージャーの笑顔はみんなとても輝いていたことです。人との出会いはとても素晴らしいことだと、あらためて感じました。出会った人たちに「アリガトウ」です！
	小西雄希（2回目）関西大学 趣味：水泳・モノ作り 今回はミーティングをしっかりし、本当に自分のためになりました。最初は「楽しかったら、それでいい」と考えていたこの活動ですが、みんなといろいろな考えを共有することによって、この活動は「野球の楽しさを知ってもらうための活動」と言うことが切実にわかりました。
	木寄孝昭（2回目）関西大学 趣味：高校野球観戦 今回は2月よりも参加者が多く、人数が多い分だけ、この活動に対する考え方や解釈の違いがあり、自分とは全く異なる意見を聞くことができた。そして、この活動をあらゆる方面から捉えることができたのではないだろうか。
	小林洋平（初参加）プール学院大学 趣味：basketball・旅行 野球活動において、自分が何かネパールに残すことができたかという点がよくわかりません。だから、また2月に参加し、今回の活動の経験を活かして、結果が表に出るようにもっとがんばりたいです。この活動の素晴らしさをもっと大勢の人に肌で感じてもらいたいと思います。
	山本亜矢子（初参加）プール学院大学 趣味：スポーツ・旅行 野球をする子供たちの姿と笑顔は本当に素晴らしいものでした。私はこの活動中、自分には何ができるのかということを考えさせられ、たくさん悩み、苦しみました。しかし、今となってはその苦しみもいい思い出になっています。この活動で体験したことは私の一生の宝物です。
	西村暁（初参加）関西大学 趣味：バットの素振り 3週間という長いようで短く、内容が充実したネパール研修。ネパールで野球を通して経験できたことをこれからの長い人生に活かしていきたいです。また是非、ネパールに行きたいです。
	小林律子（初参加）関西大学 趣味：写真 素直で人懐っこくて、やんちゃな面もありましたが、一生懸命楽しそうに野球をする子供たちがとてもかわいかったです。子供たちと野球を通じて接したり、子供たちも学校の違う友達を増やすなど、この活動は素晴らしいことでいっぱいでした。これからもどんどん輪を広げてほしいです。

	尾下智恵美（初参加）プール学院大学 趣味：カラオケ 今回ネパール野球に初参加でしたが、キャッチボールなどを通じて、現地の子供たちと交流できたことがとても嬉しかったです。今度ネパールへ行ったとき、彼らがどれだけ成長しているかが楽しみです。ネパールは毎日が新鮮で、すごく充実していたと思います。
	田村有希（初参加）プール学院大学 趣味：テニス 今回の研修では失敗もたくさんありました。しかし、いい経験ができたと思います。感無量です！！
	村田佳奈美（初参加）プール学院大学 趣味：映画鑑賞 はじめ、子供たちと打ち解けられるか不安でした。しかし、子供たちの野球をしているときの楽しそうないい顔をしているのを見て、私も楽しくなり、そんな不安もいつか消えていました。3週間、子供たちから学んだことがたくさんあり、自分自身がすごく成長できました。
	荻野有美（初参加）プール学院大学 趣味：高校野球観戦 ネパールでの3週間というものは、日本では考えられない日々でした。子供たちとの野球は一生忘れることのできない思い出になりました。毎日みんなでミーティングをして、次の日のために備え、全員が同じことで悩み、話し合ったことが私にはとても心に残っています。
	上甲恵理子（初参加）プール学院大学 趣味：読書 ネパールの子供たちや日本人メンバーと一緒に野球をすることができて、とても幸せでした。素晴らしい貴重な時を過ごせたと思っています。協力してくださったみなさん、本当にありがとうございました。
	鹿島康平（初参加）プール学院大学 趣味：サッカー・牛観察 野球がまだあまり知られていない国で野球をすることは、子供たちが考えられないプレーを見せてくれたり、グラウンドに牛が入ってきたりと、とても驚きました。今までの自分の価値観を少しだけ変えられたような気がします。ネパール研修は本当におもしろかったです。
	下方麻由（初参加）プール学院大学 趣味：野球・ソフトボール 最初は言葉も通じない子供たちとどのように接したらいいのかわからなくて不安でした。でも子供たちからキャッチボールやノックを誘ってくれて、いつのまにか仲良くなっていました。野球を通じて子供たちと通じ合えて、とても嬉しかったです。子供たちと野球ができて幸せでした。
	畑来央（初参加）プール学院大学 趣味：一人でぶらぶらすること いつ行っても、子供たちが笑って話しかけてきてくれるのがすごく嬉しかった。久しぶりに行ったときも、きちんと名前を覚えていてくれて驚いた。純粋なパワーに吞み込まれっぱなしだった。

報告者：小林洋平・山本亜矢子

私達の野球交流活動がネパールの新聞に取り上げられました。



要約

マチャプチャレのふもと、日本の協力で広がる野球

西洋の国々で非常に人気のあるアメリカ発祥の野球を、ポカラ市で広げようという活動が3年前から始まっています。日本の大阪にあるプール学院大学が中心となり、最初はアマシンセカンダリースクールの生徒20人と共にこの活動が始まりました。現在ではカリカセカンダリースクールとシリシッダセカンダリースクールの生徒20人づつも参加して、一緒に野球をしています。

活動が始まってから毎年2回、プール学院大学の学生たちがポカラに野球の指導をしに来てくれています。今年もプール学院大学の生徒（代表 園田健弥）を中心に31名が、9月2日からポカラに来て子供たちと野球交流を始めています。園田さんは「生徒達はとても素直で、生徒達も私達も楽しく野球をすることができています。」と言っています。又、今年の4月からは、以前からこの活動に参加していた花倉さんがポカラに来て、一年間野球の指導にあたっています。

花倉さんは、「ネパールの学生たちはみんな一生懸命でとても輝いているので、良い選手になるでしょう。この一年の間に6～8校の学校に参加してもらい、チームを作って試合や大会を開催できるようにしたい。私たちも第二次世界大戦前後は、ネパールと同じで経済状態はあまり良くありませんでした。しかし、私たちはそこから野球を始め、今では経済は良くなっています。」と話してくれました。

3年前から野球を続けてきたアマシンセカンダリースクールの生徒たちは、野球は楽しく時には感動もすると話していました。この野球活動は、ポカラのスポーツ観光事業発展のためにも一役かってくれるのではないのでしょうか。

（報告者：多田和弘）

今回、日本大使館とポカラ市役所で、活動についての話をする時間を頂きました。その時の様子を簡単に紹介させていただきます。

日本大使館

8月30日、ネパールの日本大使館を訪問し、公使の方とお話をさせて頂きました。

公使のお話

ネパールは山しか印象がないけれど、実は日本と同じくらい古くから文化の栄えた国です。今は世界唯一のヒンズー王国ですが、ヒンズー教と仏教の文化が共存しています。はじめ、仏教の根拠地はネパールでした。

ネパールはあらゆる面で格差の大きな国です。山奥と都市では文化が大きく違います。都会のネパール人には悪い人もいます。

開発支援では世界中がネパールに注目していて、NGO 団体も多くありますが、あまり発展していません。山が多く、国のすみずみまで人がいるので伝わりきらないことと、ネパールの人に自発性がないため続かないことがその原因です。

しかし、この国に来て良かった、学ぶ事ができたと言う人がたくさんいます。ネパール人もまた学ぶ事ができます。



市役所

9月11日、ポカラ市役所を訪問し、ポカラ市長とお話をさせて頂きました。ポカラ市では、野球交流活動のための委員会を結成して下さっており、市長がその代表をされています。

市長のお話

ネパールはアジア大陸の中でも小さく、中国とインドに挟まれた海のない国です。ポカラ市は山や湖がたくさんあり、ネパールの観光地では2番目に大きなところです。これからもっと発展させていきたいです。

ポカラ市は日本の駒ヶ根市と姉妹関係を結んでおり、今年11月には駒ヶ根市の中学生が来る予定になっています。私も今年8月に日本へ行き、色々な活動に参加しました。

ネパールは日本を見本にして発展しています。広島が崩壊して45年でもとのように、発展には長い時間がかかるので、今の若い人達がしなければなりません。

野球を広げるためにネパールに来て、ネパールと日本の文化交流をしてください。私は委員会の代表として協力します。ポカラ市に来てくれてありがとうございます。

学生からの質問にも答えて頂きました。

- Q 今年で活動は3年目を迎えますが、この活動のことをどう思っていますか？
- A これからどうしていったらいいか考えるために委員会をつくり、私が代表をしています。これからも学校を通して広げていきたいです。市役所からも協力しようと思っています。
- Q 将来どうしていきたいですか？
- A 市役所にもスポーツのための予算があります。しかし色々なスポーツのためにあるので、野球だけに使うのは無理です。今委員会でどうしたら活動が長く続くかを考えています。私が直接支えるのは無理ですが、間接的に支えていきたいです。
- Q ポカラ市の問題は？
- A ポカラ市だけでなくネパールで一番の問題は失業者です。ネパール人の45%が貧しい生活をしています。
- Q 今、中学生くらいの子供と交流しているけれど、あの年齢の子供達の就学率はどれくらいですか？
- A ネパール全体では30%くらいです。ポカラ市の都会では、67%が学校に通っています。
- Q 数年前に比べて建物が増えましたが、ポカラ市の土地がなくなっていることについてどう思いますか？
- A ポカラ市の建築は20~35%になりました。山から移動してくる人もいるので、この数字はまだまだ上がると思います。

(報告者：三上真里奈)

第5回ネパール野球交流活動のスケジュールは以下の通りです。

・事前研修

出発前に10回程度、事前研修を行い、野球の練習をはじめ、ネパール語の勉強、社会、歴史、経済、宗教等の勉強会も行いました。

又、プール学院大学での学内募金活動や、大阪駅周辺での街頭募金活動も行いました。

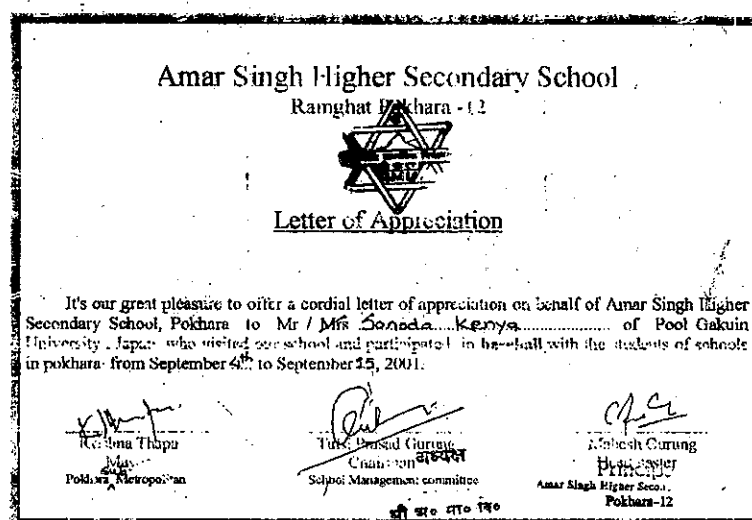
・現地スケジュール

	午前	午後
8月29日		カトマンズ着
30日	日本大使館訪問 カトマンズ大学訪問	日本大使館の方とパーティー
31日	孤児院訪問 パタン観光	やさしさ日本語学校で 交流パーティー
9月1日	やさしさ日本語学校訪問	ホームステイ
2日	ポカラへ移動	
3日	オープニングセレモニー	野球練習開始
4日	アマシン：ピッチング 一ヶ所ノック カリカ シリシダ：ノック	アマシン：内野ノック カリカ シリシダ：内外野ノック
5日	ポカラ観光	フリー
6日	全体ノック ランニングゲーム	素振り 内外野ノック ランナー バッティング
7日	バッティング	素振り ノック ランナー
8日	試合：アマシン VS ラリグラス(1：12)	フリー
9日	フリー	
10日	シリシダセカンダリースクールで 日本文化紹介	雨のため教室で親睦を深める
11日	アマシン：内野ノック カリカ シリシダ：守備練習(ランナー有)	ポカラ市役所訪問
12日	アマシン：内野ノック カリカ シリシダ：内外野ノック	ルール勉強 ビデオ鑑賞(甲子園)
13日	ポカラ観光	アマシン カリカ：全体ノック シリシダ：走塁練習
14日	試合：カリカ VS シリシダ(1：1)	生徒とパーティー

15 日	試合：カリカ VS シリシダ (7 : 3) アマシン VS カリカ (0 : 17)	試合：アマシン VS ラリグラス (2 : 16) クロージングセレモニー
16 日	小学校訪問	カトマンズへ移動
17 日	カトマンズ観光	チベット僧院訪問
18 日	フリー	お別れパーティー
19 日	帰国	

*ラリグラスは日本人チーム名です。

- ・毎日の練習開始前にはウォーミングアップを行ないました。
(ランニング、準備体操、キャッチボール)
- ・練習後には毎回、その日の練習内容や、体調について生徒達と話しました。
- ・クロージングセレモニーでは、ポカラ市長、ESODEC、交流した3校の校長から感謝状を頂きました。



- ・事後研修
学内用報告ポスター作成、報告ビデオ作成、報告書作成
小学校訪問（大学近辺の小学校を訪問し、ネパール文化を紹介しました。）

(報告者：園田健弥)

会計報告

今回の活動に伴う収支報告をさせていただきます。

収入		支出	
前回より繰越金	514,149	花倉雄宇也 派遣費	525,460
ご協力者の方々より	141,080	野球道具購入費	209,120
街頭募金 (H13.8.5)	120,326	第5回交流活動費	45,563
学内募金 (プール学院にて)	74,079	交際費・雑費	18,882
計	849,634	計	799,025

尚、次回への繰越金は 50,609 円です。

たくさんの方々から活動費及び道具の寄付をして頂きました。

ご協力頂いた皆様は以下の通りです。(12月1日現在)

アスレチック BASEBALL CLUB 様 有村一夫様 和泉サークルズ様 和泉少年軟式野球協会様 いぶきのボールパークズ様 岩坂正雄様 沖上スポーツ様 オリックスブルーウェーブ様 木川田一郎様 北山奉久様 草竹和信様 幸ジュニアファイターズ様 小阪荘園子供会様 小嶋智弘様 小林哲也様 ゼット株式会社様 鶴野麻里子様 D.M.ヒラチャン様 中山昌子様 中山雄次様 ネットワーク HITO 様 橋本守様 南松ファイブスターズ様 箕浦史郎様 宮川絢江様 宮川多美恵様 村瀬寿代様 室山皓之助様 UCC様 吉田義男様

街頭募金にご協力くださった方々 学内募金にご協力くださった方々 プール学院教職員の方々 プール学院同窓会の方々 ミズパ会の方々

(50音順)

ありがとうございました。

第5回野球交流活動で現地へ持参したものは以下の通りです。

ユニフォーム 30 着 ベース 2 セット グローブ 36 個 (右 28、左 6) キャッチャーミット 1 個 キャッチャー道具一式 3 セット ボール 60 個 バット 17 本 グローブに通すひも 3 セット ひも通し 5 本 皮ひも 12 本 グリップスプレー 2 個 ロージン 2 個 ワックス 1 個 テーピング 4 個 スコアブック 3 冊 ホワイトボード 4 個 救急セット 2 個 クリップ 8 個 黒ペン 6 本 赤ペン 6 本 ノート 4 冊 はさみ 3 個 マグネット 24 個 釘 2 セット

UCCユニフォーム約 100 着 (これはUCCから寄付していただいたもので、やさしさ日本語学校と ESODEC に寄付しました。) (報告者：巖一季)

今後の予定

- ・第6回ネパール野球交流活動

期間：2月中旬～3月上旬（約3週間）

場所：ネパール、ポカラ市、アマシンセカンダリースクール

（プール学院OB会のミズパ会の方々が見学に来られる予定です。）

目標：カリカ、シリシダ： 更に上の野球の楽しさを知ってもらおう。また、ルールを完全に理解してもらい、より野球を好きになってもらう。

アマシン： 日本チームに負けないように強くなってもらう。ホームランバッターや剛速球ピッチャーを夢見て欲しい。

最終的には日本、ネパールの参加者全員が楽しく野球で触れ合う。

- ・現地派遣員継続

花倉雄宇也が来年3月に帰国予定のため、新たにメンバーを派遣し、現地で野球交流を続ける予定です。

- ・ネパール文化紹介

日本語研修同様に帰国後、近隣小学校を訪問しネパール文化、野球を紹介し、小学生との交流を図る予定です。

これらの活動、また今後の活動に伴う資金や道具が不足しております。

皆様の暖かいご協力をよろしくお願い申し上げます。

- ・活動資金

三和銀行 船場支店 普通口座 3984578

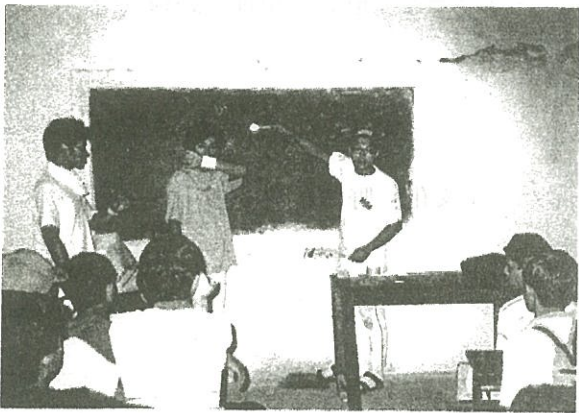
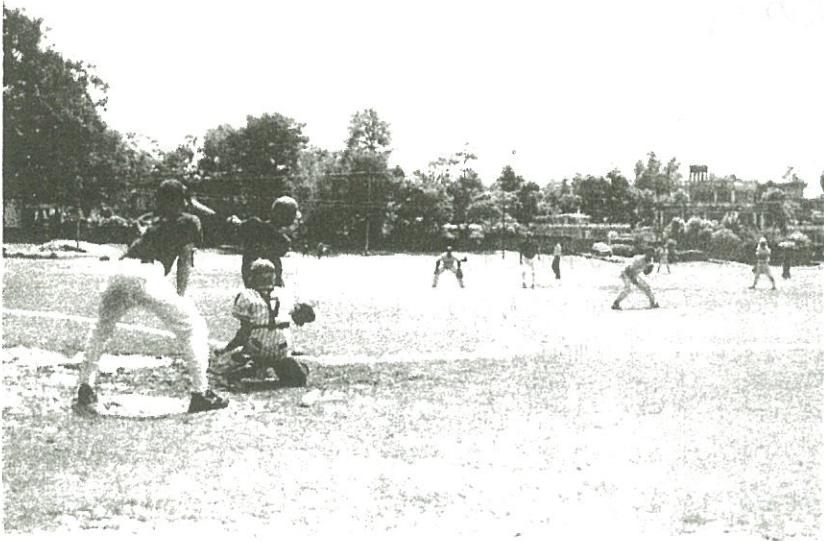
ネパール野球交流活動基金

- ・野球道具

大阪府 堺市 槇塚台 4-5-1 TEL：0722-92-7201

プール学院大学 異文化間交流センター ネパール研修旅行 野球交流活動グループ

（報告者：藤岡恭兵）







連 絡 先

住 所 : 大阪府 堺市 槇塚台 4 - 5 - 1
プール学院大学 異文化間協働センター
ネパール研修旅行 野球交流活動グループ

TEL : 0722 - 92 - 7021

ホームページ : <http://nepalbaseball.tripod.co.jp>

野球を広める会 主な活動内容

・ 野球交流活動

年間2回あるいは1回、日本国内で広く参加者を募り、事前研修を実施した後ネパールの子供たちと野球紹介活動を通じたスポーツ交流を行う。また、必要に応じて野球を広めるための諸活動を行う（市長への協力要請など）。活動終了後には反省会をした後に報告書を作成し、活動のひとつの区切りとする。

・ 指導者派遣

野球指導者として現地での活動を強く希望する有志を募り、ネパールへ長期的に派遣する。現地では野球の練習、ルール紹介を行い、ネパールで野球が広く楽しめるようになることを目指す。また、連絡を取り合って現地の状況をメンバーに報告することも大切な仕事のひとつである。

・ 国際的な野球交流

ネパールから指導者、野球研修者を日本に招き、日本野球の紹介・交流・各種見学を行い理解を深める。また、日本滞在中には、日本で協力していただいている方々と交流会を行い、より身近な存在として捉えてもらえるようにし、協力体制と固めるといった宣伝活動の意味も含まれている。

・ 協力していただいている方々との連絡

今までに参加したメンバーをつなげるための活動を行う。また、協力していただいている方々及び今までの参加者を対象に年に一度報告会を行う（12月）。その他重要決定事項、活動の動きがある場合随時報告する。

・ ホームページによる情報公開

野球を広める会の活動をできるだけ活動に透明感をもたせるため情報公開を行い、活動を身近に感じてもらえるように努める。また、会計報告も年に一度は行い、寄付への信用度を高める。

